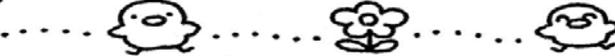


うさぎぐみだより



平成30年3月号

尚徳福祉会 生麦保育園

長い冬が終わり、もうすぐ春の季節がやってきます。子どもたちはチューリップのお花が咲くのを楽しみにし、毎日水をあげています。うさぎ組で過ごすのもあと少しになりました。初めの頃は、友だちの思いを受け止められずに泣いてしまったり、いじけてしまったりといろいろありましたが、今では友だちの気持ちに気づけるようになりました。この1年間、子どもたちと一緒に笑ったり泣いたり、本当に楽しく過ごすことができました。保護者の皆様には、色々ご協力いただきありがとうございました。

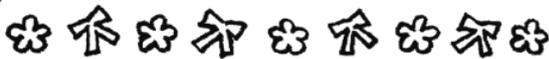
節分

自分で作った鬼のお面をつけ、節分の行事を楽しみました。鬼が来る前までは「おに、こわくないよ～」と言っていた子どもたちでしたが、窓からドンドンと音が聞こえると…保育者の傍に行く子や、固まってしまう子がいました。それでも、みんなで力を合わせて「おには～そとー!」と新聞紙で作ったお豆を投げました。鬼が逃げていくのを見て、子どもたちは安心した様子!その後は、お豆の代わりにポン菓子を、「おかわり～」とたくさん食べていました。

お店屋さんごっこ



ごっこ遊びをしました。うさぎ組のお部屋は、フードコート。「チョコ」「ドーナツ」「ポテト」「ピザ」のお店を開き、きりん、ぞう組のお部屋では、「射的」「なまむぎおんせん」「ポーリング」などのお店を開きました。子どもたちは「いらっしゃいませ～」「いかがですか～」と意欲的に声を出し楽しんでいました。お店をまわる時は、自分で作ったお財布を首から下げ買物袋を持って、ここにこまんグループのお兄さんお姉さんと一緒にまわりました。ワニワニゲームやポーリングをした後は、景品を貰いとても嬉しそうにしている子どもたちでした。



人形劇

劇が始まる前に、手遊びや歌をうたい手拍子をして、楽しみました。「ふしぎなきき耳ずきん」の人形劇では、頭巾を被ると動物の声が聞こえる不思議なお話に、子どもたちは大喜び!! 「〇〇だよ～」「あっちにいったよ～」など劇を見ながら声を出し教えてあげる優しい姿も見られました。最後まで興味津々に見ている子どもたちでした。

懇談会

懇談会にご参加いただきありがとうございました。うさぎ組になり、いろいろなことができるようになりました。「できるよ!」「みてて!」と頼もしい姿を見せてくれる子どもたち…日々、子どもたちの成長を感じられます。そんなみんなももうすぐ、きりん組! きりん組になることに期待をもち、洋服を丁寧に畳んだり、支度を早く済ませたりする子どもたちの姿が見られます。